

論文審査の結果の要旨

2022年2月14日

申請者： 姜 艶輝

論文題目： 日中製造業のバリューチェーンを活かした
中小企業の戦略的柔軟性に関する研究
－アパレルと自動車部品の中小企業を事例として－

姜艶輝氏の博士学位請求論文「日中製造業のバリューチェーンを活かした中小企業の戦略的柔軟性に関する研究－アパレルと自動車部品の中小企業を事例として－」は、日中製造業バリューチェーンにおけるポジショニングを調整することによって、中小企業の競争優位戦略を柔軟に変更することができることを、アパレルのチュウキ社と金型のジュンゲン社の事例を元に、マイケル・ポーターの5フォース分析と競争戦略の類型に基づいて分析したことは評価できる。

アパレルのチュウキ社は、中国の協力企業の生産能力を利用しながら、自社の日中製造業バリューチェーンにおける役割を、OEM(original equipment manufacturing)から順次にODM(original design manufacturing)とOBM(original brand manufacturing)の機能を順次に付加し、シルクのランジェリーのようなファッション性の強い商品を自社ブランドで発売するなど、「コスト集中戦略」から「差別化集中戦略」に変更することに成功している。金型のジュンゲン社は、高い技術力が必要で価格競争が激しい「金型完成品」の割合を下げて、パートナー企業の協力を得ながら「試作部品」「鋳物」「量産品」を広げることによって、取引企業の信頼を得ながら「擦り合わせ型のものづくりプロセス」に深く関与し、「コスト集中戦略」から「コストリーダーシップ戦略」に変更することに成功している。

「2020年版中小企業白書」において、小企業・小規模事業者の多様性に着目し、中小企業・小規模事業者に期待される役割・機能を、グローバル型、サプライチェーン型、地域資源型、生活インフラ関連型の4つの類型に分け、それぞれの類型に適した支援策の必要性を論じている。本論文は、中小製造業で多いサプライチェーン型とグローバル型の企業が、競争優位戦略を変更する際の指針を与えるものとして博士号に値すると評価する。

審査員（主査） 袁 福之

審査員（副査） 染谷 芳臣

審査員（副査） 孫根 志華